



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 20 令和4年3月 長野市



第20号

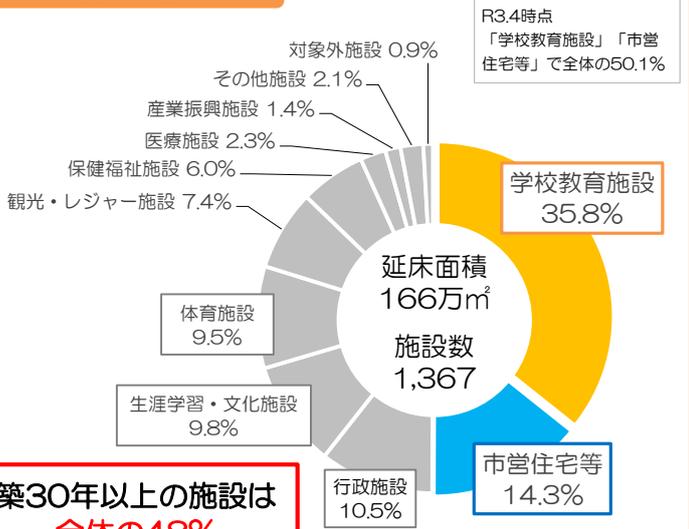
ご存知ですか？ 公共施設マネジメントの必要性

公共施設マネジメントとは？

“将来にわたって、市民のみなさんへ行政サービスを持続的に提供できるよう、将来人口、財政状況などを考慮し、公共施設を最適化”することです。

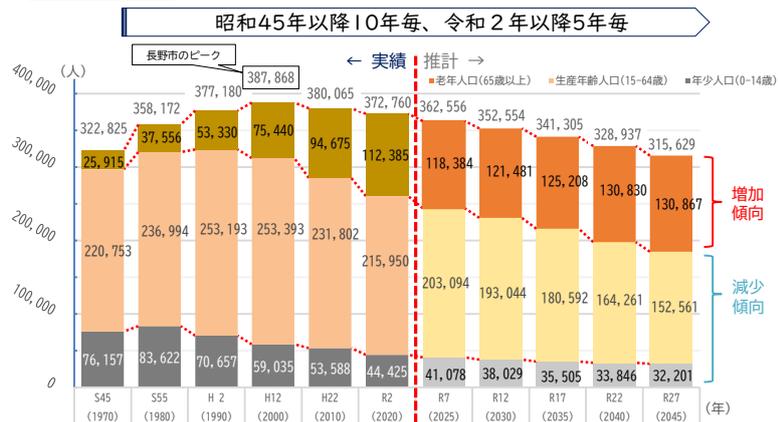
公共施設現状（保有量）

公共施設（建築物）

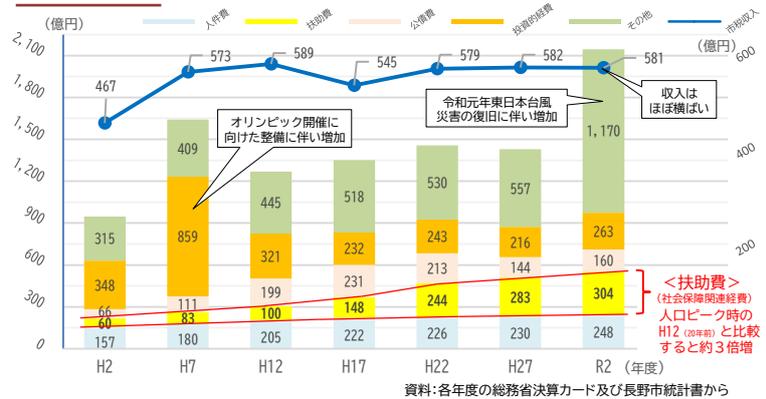


長野市の人口推移と財政状況

人口推移



財政状況



インフラ施設

主な施設（抜粋） R3.4時点

種別	主な保有量
道路施設	道路延長 4,389km
河川施設	準用河川 5km
公園	都市公園 205箇所
上水道施設	管路延長 2,468km
下水道施設	管路延長 2,378km

長野市の今後の見通し

- 生産年齢人口の減少に伴う、公共施設の改修・更新費用等に係る将来世代の負担増
- 高齢化に伴う扶助費などの社会保障関係経費の増加
- 築30年以上の施設の割合増加に伴う、公共施設の改修・更新費用の増加

などが挙げられます。

『将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく』ためには、従来の施設整備や管理運営の固定化された考え方を転換し、柔軟な発想でみんなでアイデアを出し合いながら、限られた資源を最大限活用することが必要です。

公共施設マネジメント ～施設の集約・複合化～

公共施設マネジメントを進めるには、同じ用途の施設を一つにまとめる「集約化」や、異なる用途の施設を一つにまとめる「複合化」といった手法があります。

集約化・複合化は、①維持管理経費や面積の削減、②余裕スペースの有効活用のほか、③異なる機能をもつ施設が一つになることで生まれる利用者間の新たな交流やにぎわいづくり、④同一施設で複数のサービスが受けられる利便性の向上などの効果が期待できます。

本市でも、集約化・複合化の取組を進めています。今回は2例をご紹介します。

信州新町小・中学校

※令和5年4月～開校予定

集約化

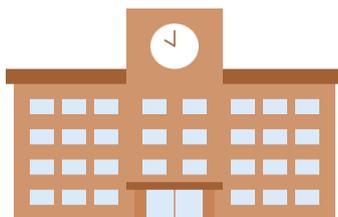
児童生徒の減少に対応した既存中学校校舎への集約化



【屋根や太陽光パネルの劣化】

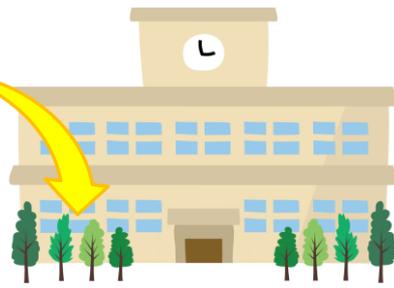


【土砂災害特別警戒区域に立地する小学校】



信州新町小学校

小学校機能を
中学校内に移転
(+増改築)



信州新町中学校 (+小学校)

△ 課題

- ✓ 施設が老朽化（雨漏り、太陽光パネルの落下等）しており、抜本的な改修が必要
- ✓ 土砂災害特別警戒区域※1に指定されているため現地建替は困難
- ✓ 児童生徒数減少による多様な集団での学びの減少と、人間関係の固定化

○ 移転による効果

- 安全性の確保
- 小・中学校が一体となり、発達段階に応じた連続性のある教育を展開することが可能
- 小・中学校の枠組みを越えた異学年交流の増加や多様な学びの創出
- 現小学校の大規模修繕費の削減

※1：土砂災害が発生した場合「建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域」のことで、レッドゾーンともいいます。

鬼無里公民館

※令和4年4月～開館

複合化

支所の空き部屋を活用した公民館機能の移転



鬼無里公民館

公民館機能を
支所内に移転



鬼無里支所・活性化センター・診療所
(+公民館)

★ 旧議場を視聴覚ホールに改修（地元要望）



【BEFORE】



【AFTER】

△ 課題

- ✓ 耐震診断※2未実施（旧耐震建物※3）
- ✓ 支所の空き部屋の活用
- ✓ 施設が老朽化（内外装の破損、雨漏り）しており、抜本的な改修が必要

○ 移転による効果

- 耐震基準を満たした建物内での公民館活動
- 支所の空き部屋の有効活用
- 複合化による利便性の向上
- 現公民館の大規模修繕費の削減

※2：建物に対して耐震性能がどの程度あるのかを確認するものです。診断の結果、補強が必要となれば耐震工事を行います。

※3：現在の耐震基準が施行（昭和56年6月1日）される以前に建てられた建物をいいます。

長野市公共施設等総合管理計画を改訂しました

令和4年2月に「ユニバーサルデザイン化の推進方針」などを追加し、改訂しました。引き続き、次の4つの基本方針とそれぞれの取組の柱に基づき、公共施設マネジメントを推進していきます。

1 施設総量の縮減と適正配置の実現

- (1)施設総量の縮減
- (2)新規整備の抑制
- (3)施設の複合化・多機能化の推進
- (4)地域特性等を踏まえた施設配置
- (5)広域的な連携

2 計画的な保全による長寿命化の推進

- (1)ライフサイクルコストの縮減
- (2)長寿命化基本方針の推進
- (3)施設点検マニュアルに基づく管理等
- (4)耐震化の推進
- (5)長野市公共施設等総合管理基金の活用
- (6)ユニバーサルデザイン化の推進

3 効果的・効率的な管理運営と資産活用

- (1)施設利用の促進
- (2)管理運営の効率化
- (3)受益者負担の適正化
- (4)遊休施設等の積極的な利活用

4 全庁的な公共施設マネジメントの推進

- (1)庁内推進体制の強化
- (2)財政との連動
- (3)施設情報の一元化
- (4)職員意識改革の推進

計画を改訂するに当たり、市民意見等の募集（パブリックコメント）を実施し、5件の貴重なご意見をいただきました。今後のマネジメントを進める際の参考とさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。

パブリックコメントの結果と「長野市公共施設等総合管理計画」は、市のホームページに掲載しています。



長寿命化改修を進めています

公共施設の長寿命化事業

老朽化した公共施設の改修や更新などの対策を着実に実施するため、令和4年度から一般会計当初予算に「公共施設長寿命化枠」を新設しました。

本事業の実施にあたっては、補助金や有利な起債等を活用し、財政負担の軽減を図りながら進めていきます。

令和4年度 事業費総額 35.8億円

長寿命化対象施設内訳 54施設

(主な施設)

【小・中学校施設 19施設】

鍋屋田小、緑ヶ丘小、三本柳小、東北中、篠ノ井西中 ほか

【市営住宅等 10施設】

吉田広町団地、上松東団地、今井団地、返目団地 ほか

【福祉施設等 4施設】

障害者福祉センター、信州新町保育園、寺尾保育園、青木島保育園

【体育施設等 6施設】

エムウェーブ、長野オリンピックスタジアム、豊野体育館、川中島体育館 ほか

【庁舎及び支所 9施設】

市役所第二庁舎、古里総合市民センター（支所・公民館）、信州新町支所 ほか



「PPP / PFI」ってなあに？(第4回 / 全4回)

PPP/PFIを「ニュースレターVol.17」から全4回に分けて紹介しています。最終回はPPP(官民連携)を活用して、公共施設の管理運営を行う取組を紹介します。

【指定管理者制度】

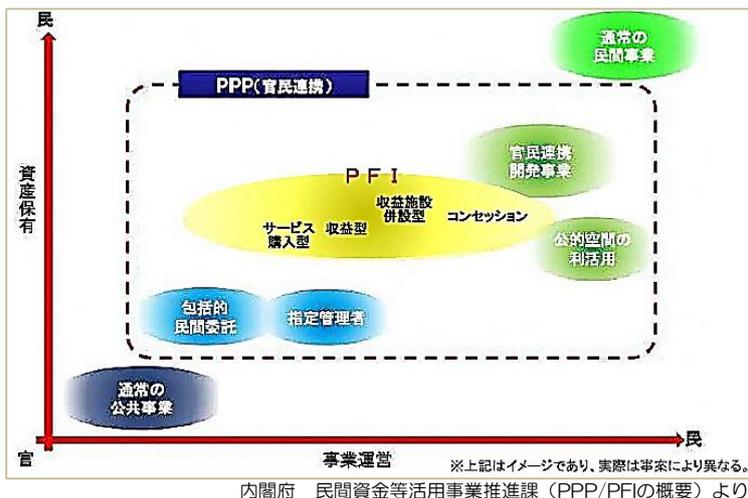
この制度は、地方自治法の一部改正(平成15年9月2日)により、一部の公共施設*4の管理運営を民間団体が主体になって行うことが可能となったもので、利用者に対するサービスの向上や経費削減などが期待されています。

※4: スポーツ施設、都市公園、文化施設、社会福祉施設など、市民の皆さんが利用することを目的に設置した施設です。



令和3年4月現在、本市では331施設に指定管理者制度を導入しています。

市内外の企業をはじめ、地域住民によるNPO法人・住民自治協議会が指定管理者となって、管理運営しています。



【長野市のPFI事業】

平成18年4月オープン「湯湯温泉 湯〜ぱれあ」は、県内最初のPFI事業(サービス購入型)として整備・運営を行ってきた施設です。

現在は15年間の事業期間を終え、指定管理者制度により運営を行っています。



職員に向けた研修を行いました

令和3年11月9日に、「公共施設マネジメント推進に向けたPPP/PFI研修会」を市役所講堂で開催しました。

web会議システムの視聴者を含む63名が参加し、公共施設整備におけるPFI導入のメリットなど、PFIの基本的な知識を学ぶ良い機会となりました。



令和3年11月25日には、長野地域連携中枢都市圏ビジョンに基づく「公共施設等マネジメントスキルアップ研修」を須坂市学校給食センターで開催しました。

当日は須坂市職員から学校給食センターのPFI導入経過等をお聞きしたほか、施設見学等を通じPFIの実例を学びました。

◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、HPへ!
【長野市ホームページ>組織で探す>公共施設マネジメント推進課】

公共施設マネジメント推進に対する皆さまのご意見をお聞かせください。次号もお楽しみに!

長野市 総務部 公有財産活用局 公共施設マネジメント推進課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel : 026-224-7592 Fax : 026-224-7964
E-mail : koukyou@city.nagano.lg.jp

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。